

平成26年度当初予算要求の考え方 戦略企画部

1. 戦略企画部の役割等

(1) 戦略企画部の役割

戦略企画部は、

- ① 県政のトップマネジメント機能の強化
- ② 企画・政策提言機能の充実
- ③ 広聴広報機能の充実

をめざして設置されたものであることをふまえ、「幸福実感日本一」の三重の実現に向けて、「みえ県民カビジョン」に基づき県政全体が展開されるよう取り組みます。

(2) 戦略企画部が主担当となる施策・行政運営の取組

行政運営1「みえ県民カビジョン」の推進

【平成27年度末での到達目標】

「選択・集中プログラム」をはじめ、「行動計画」に基づく施策、事業に取り組むことにより、県政の課題解決が進み、県民の皆さんが取組の成果を感じ始めています。

行政運営6 広聴広報の充実

【平成27年度末での到達目標】

県民の皆さんへの一方的なお知らせにとどまらず、多様な媒体を活用した情報発信を行うなど、県民の皆さんが必要とする県政情報が容易に入手できるような広報活動を展開するとともに、県民の皆さんの声を幅広く受信する広聴機能がより一層充実しています。

2. 当初予算要求額（要求区分別）

(単位：千円)

	事業費	一般財源	主な内容
人件費	967,148	799,870	職員人件費
交際費等	6,944	6,944	知事交際費、政策開発経費
大規模臨時的経費	42,522	23,730	インターネット情報提供推進事業費 (県ウェブサイトの再構築経費)
庁舎管理経費等	341,713	322,178	県政だより事業費、電波広報事業費
政策的経費	373,224	20,382	
優先度判断調査の対象	24,416	20,382	高等教育機関と地域との連携の仕組みづくり推進事業費
優先度判断調査の対象外	348,808	0	※各指定統計で国費10/10の事業 経済センサス基礎調査・商業統計調査費など
計	1,731,551	1,173,104	

3. 平成26年度当初予算要求のポイント

(1) 「みえ県民カビジョン」の的確な進行管理

平成26年度は、「みえ県民カビジョン」の3年目を迎えることから、各部局が「みえ成果向上サイクル」を的確に運用し、「みえ県民カビジョン・行動計画」における各施策等の目標を達成できるよう、必要な支援や助言を行うなど、的確な進行管理に努めます。

○主な事業

【 行動計画進行管理事業費 10,237千円 (政策的経費：290千円) 】

「三重県経営戦略会議」や県民の皆さんの参画のもと進める「新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議」などの意見等を踏まえ、「みえ県民カビジョン」の着実な進行管理を図ります。

【 計画推進諸費 5,152千円 (政策的経費：－千円) 】

県民の皆さんの幸福実感の推移等を把握し、県政の運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を行います。

(2) 広域連携の推進

引き続き、全国知事会や近隣府県等との連携を進めるとともに、国への提言活動を行います。さらに、共通課題を有する県等との連携を進めていきます。

○主な事業

【 広域連携推進費 17,636千円 (政策的経費：794千円) 】

全国知事会や関係府県等のさまざまな主体と連携し、地方分権改革、伊勢湾の再生、紀伊半島地域の振興などの多様な課題の解決に向けて、国への提言活動などに取り組みます。

【 中部圏・近畿圏連携強化費 4,131千円 (政策的経費：－千円) 】

中部圏、近畿圏及び東海三県一市の知事会等に参画して、多様な課題について協議を行い、連携事業や国への提言活動などに取り組みます。

(3) 効果的な広報活動の推進

県政運営に係る情報や課題等をわかりやすく提供し、より効果的に事業を実施するため「県政だより みえ」「ラジオ・テレビ」「ホームページ」「新聞」など様々な媒体の特性を生かしながら、適時・的確に、かつ興味・関心を持っていただけるように、情報を発信していきます。

○主な事業

【 電波広報事業費 86,542千円 (政策的経費：－千円) 】

テレビのデータ放送を活用して県政情報を提供するほか、「情報の速報性・同時性」、「映像による説得性」などの特性を持つラジオ・テレビといった電波広報媒体を活用して、県の施策、事業等をわかりやすくリアルタイムで発信します。

【 県政だより事業費 61,730千円 (政策的経費：－千円) 】

県の施策や事業、県内のイベント情報などをわかりやすく掲載した三重県広報紙「県政だより みえ」の公共施設・スーパー等への配置や市町の協力のもと自治会での回覧により、様々な県政情報を県民の皆さんが手軽に入手できるよう取り組んでいきます。

【 インターネット情報提供推進事業費 56,472千円 (政策的経費：－千円) 】

インターネットを利用して県民の皆さんが必要な行政情報を入手できるよう、県ホームページの安定的な運用を行います。また、平成28年度からの県ウェブサイトの新システム稼働に向け再構築に取り組みます。

4. 政策的経費の優先度判断の考え方

法令により義務付けられている事業は優先的にAとし、優先度判断に係る4つの視点(①みえ県民カビジョンの目標達成、②「平成26年度三重県経営方針(案)」の推進、③県民ニーズ、県民生活への影響、④緊急性)を踏まえ、1つ1つの事業について、「みえ県民カビジョン及び行動計画」の着実な推進に向けて与える影響の大きさなどを総合的に勘案し、優先度を判断しました。